

第 67 回 日本 P T A 全国研究大会兵庫大会 参加報告書

富士市 P T A 連絡協議会

副会長 上野 英樹

第 67 回日本 P T A 全国研究大会兵庫大会に参加してきました。

大会スローガンには『つなげよう「いのち」のバトン次世代を生き抜くこどもたちへ～地域とともに育む力 兵庫から～』が掲げられました。

8 月 23、24 日の二日間で分科会は兵庫県内各地 10 会場、2 日目の全大会は神戸市のワールド記念ホールで行われました。

1 日目の分科会は姫路市の姫路市文化センター大ホールで行われました特別第 1 分科会に参加いたしました。

「いじめ」なんてカッコわるい！ ～我が子を当事者にさせないために～を研究課題として基調講演とパネルディスカッションが行われました。

多様化するいじめを減らすには未然防止、早期発見が重要です。

しかし今のいじめはメールや SNS などを通して行われているものが多く見つけることがとても難しくなっています。

子供とのコミュニケーション増やし些細な変化にいち早く気づき対応していくことが必要であるのではないかと感じさせられる講演でした。

当事者になってしまうと本人だけでなく周りの環境にも影響を与えてしまいます。いじめられる側もいじめられた側もマイナス面しかありません。保護者、教師、学校、地域が連携しよりよい環境を構築することでいじめを減らすことができるのではないかと思います。

2 日目の全体大会ではメンタリスト DaiGo 氏による記念講演がおこなわれました。

演題は「子育ては、心理学でラクになる」、自身が小学校～中学校生活の 8 年間いじめられていた体験からとても興味深い話が聞けました。

いじめられている現状を周囲は見て見ぬふり、何年我慢しても環境は変わらなかったが自分が変わるによりいじめはなくなった。

自分自身が様々なことを学び行動することによりそれが子供に伝わり日々の成長に大きな影響を与えているのではないかと考えることができました。

ラクに考えることでラクすることができる。

今後の PTA 活動に活かしていきたいと思います。